津波浸水予測図　市町村別（縮尺　1:35,000）　広尾町（全３図面）

※津波浸水予測図の説明

■下記の津波を想定津波とし、構造物が「効果あり」・「効果なし」の2パターンのシミュレーションを行ないました。（全2ケース）
■図面には、全2ケースのうち、最大の浸水範囲、浸水深（注１）および、代表する地点周辺における最大遡上高（注１）と影響開始時間（注２）を表示しています。
■地震の震源が想定より陸地に近かったり、想定を超える津波が来襲するなど、条件が異なる場合には、ここで示した時間より早く津波が来襲したり、遡上高が高くなったり、浸水範囲以外でも浸水する可能性があります。

［シミュレーション条件］

（１）想定津波
　500年間隔地震津波
（２）構造物
　効果あり　：　防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防などの施設が、全て有効に機能したケース。
　効果なし　：　防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防など施設の機能が失われたと想定したケース。
（３）潮　　位　：　朔望平均満潮位　（各月の最高満潮面を平均した潮位）

※注１　最大遡上高と浸水深（図１参照）
　最大遡上高は、各地区で津波が到達する最高の標高とします。浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。
※注２　影響開始時間と津波到達時間（図２参照）
　影響開始時間は、地震発生から、海岸・海中の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化（初期水位から水位変化が±20cm）が生じるまでの時間です。
　津波到達時間は、地震発生から、津波第一波のピークが海岸に到達するまでの時間です。

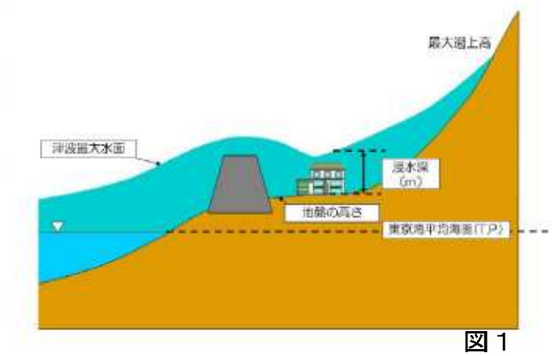


図１

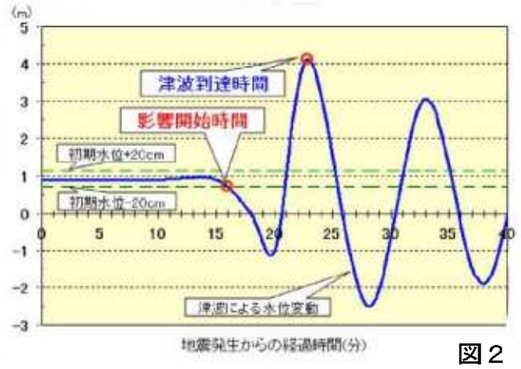
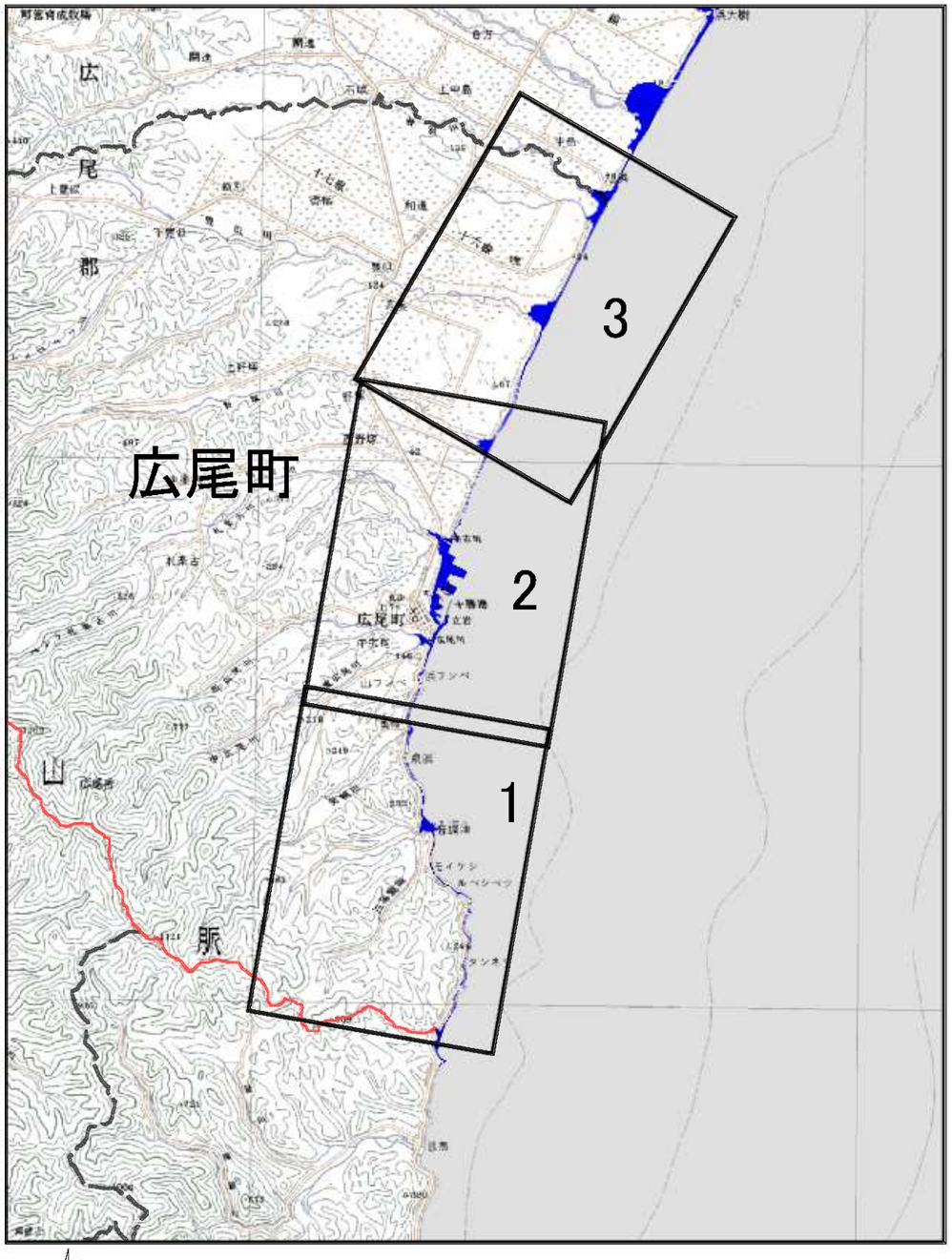


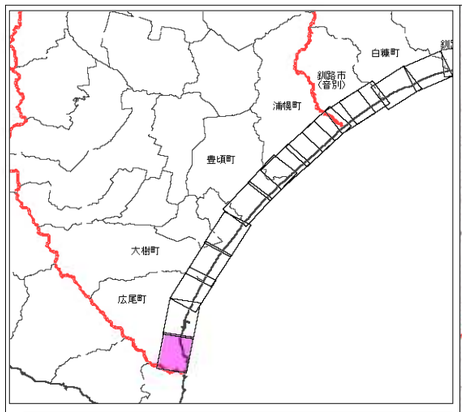
図２

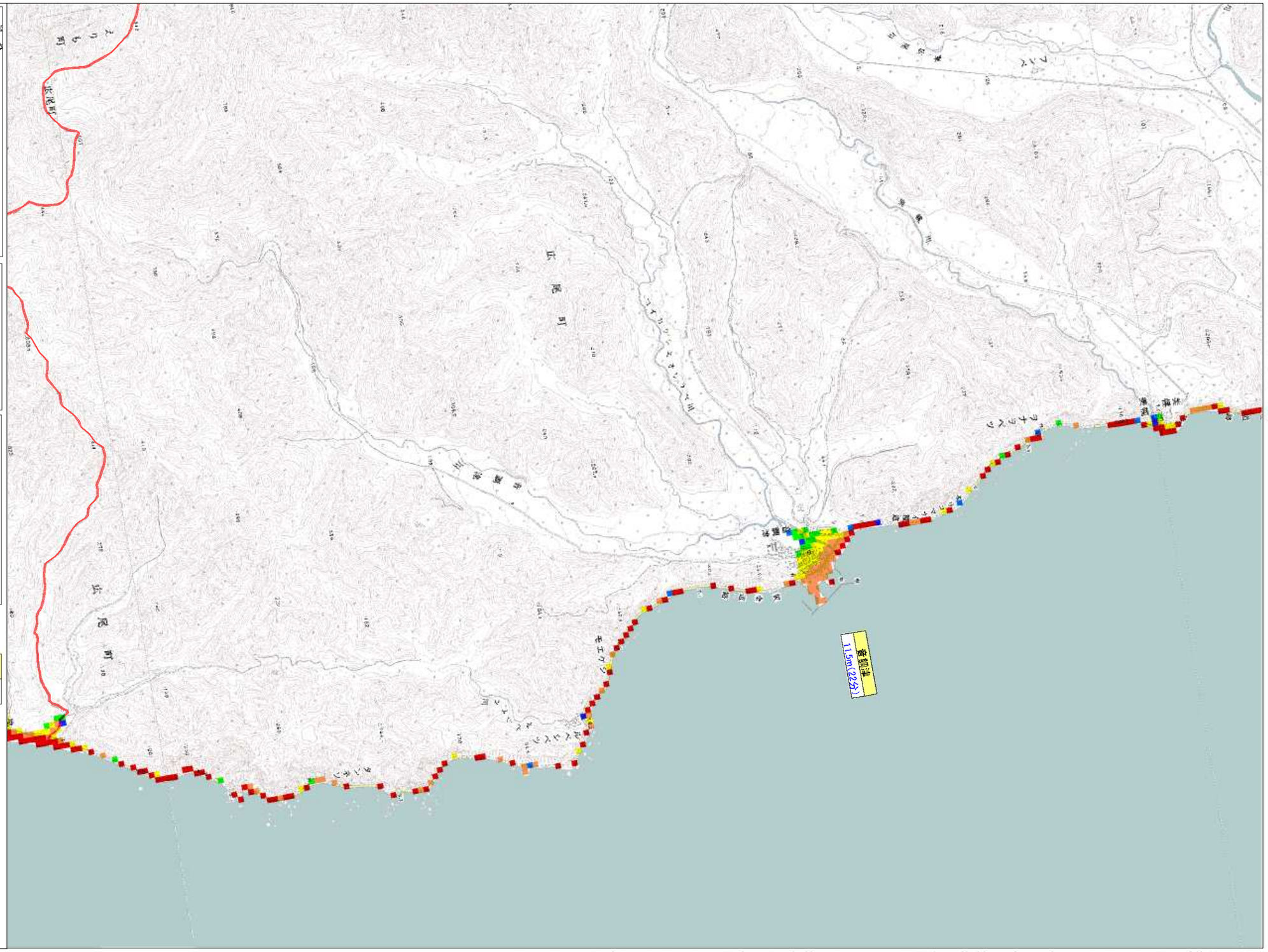
被　害　想　定　結　果			
想定項目	想定地震	500年間隔	
	構造物条件	なし	あり
建物被害　（単位：棟）	床上（全壊）	153	79
	床上（半壊）	19	74
	床上（軽微）	0	12
	床下浸水	2	5
人的被害（冬季）（単位：人）	死者数	21	16
	重傷者数	36	45
	中等傷者数	88	108
人的被害（夏季）（単位：人）	死者数	17	13
	重傷者数	42	56
	中等傷者数	101	136



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平17道複第379号）

津波浸水予測図　市町村別　広尾町　（1／3）





500　0　500　1000　1500m

縮尺　1　：　35,000

凡　例

津波浸水予測範囲
（500年間隔地震津波の最大浸水深）

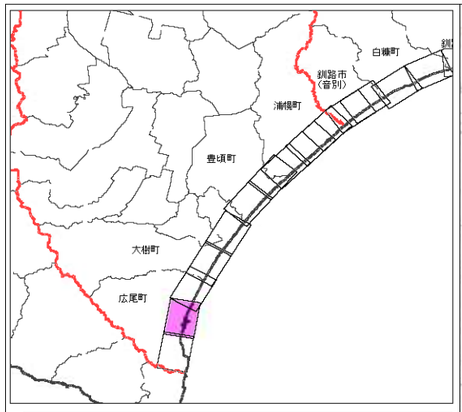
- 0.5m未満
- 0.5m以上　1.0m未満
- 1.0m以上　2.0m未満
- 2.0m以上　4.0m未満
- 4.0m以上　6.0m未満
- 6.0m以上

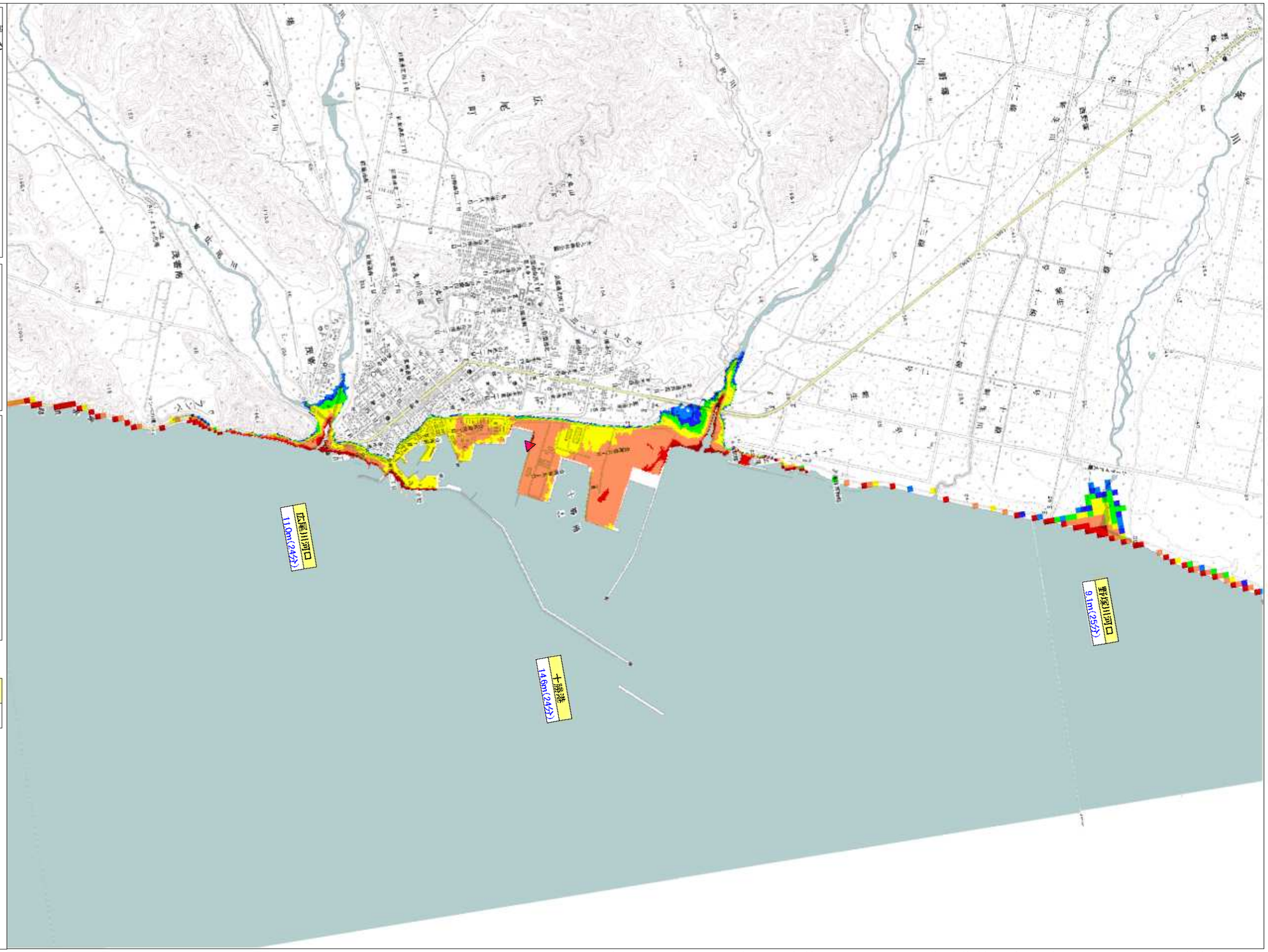
各地で予測される最大遡上高・影響開始時間

地区名
500年間隔地震の最大遡上高（影響開始時間）

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平17道複第379号）

津波浸水予測図　市町村別　広尾町　（2／3）





N

500　0　500　1000　1500m

縮尺　1　：　35,000

凡　例

津波浸水予測範囲
（500年間隔地震の最大浸水深）

- 0.5m未満
- 0.5m以上　1.0m未満
- 1.0m以上　2.0m未満
- 2.0m以上　4.0m未満
- 4.0m以上　6.0m未満
- 6.0m以上

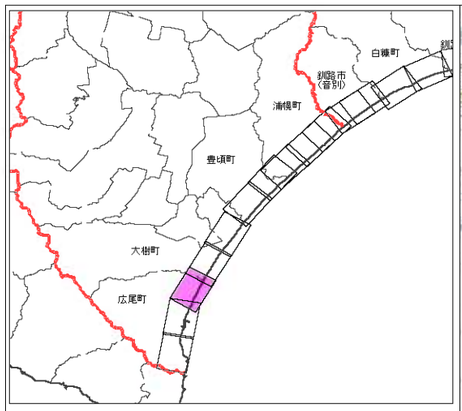
▲ 検潮所

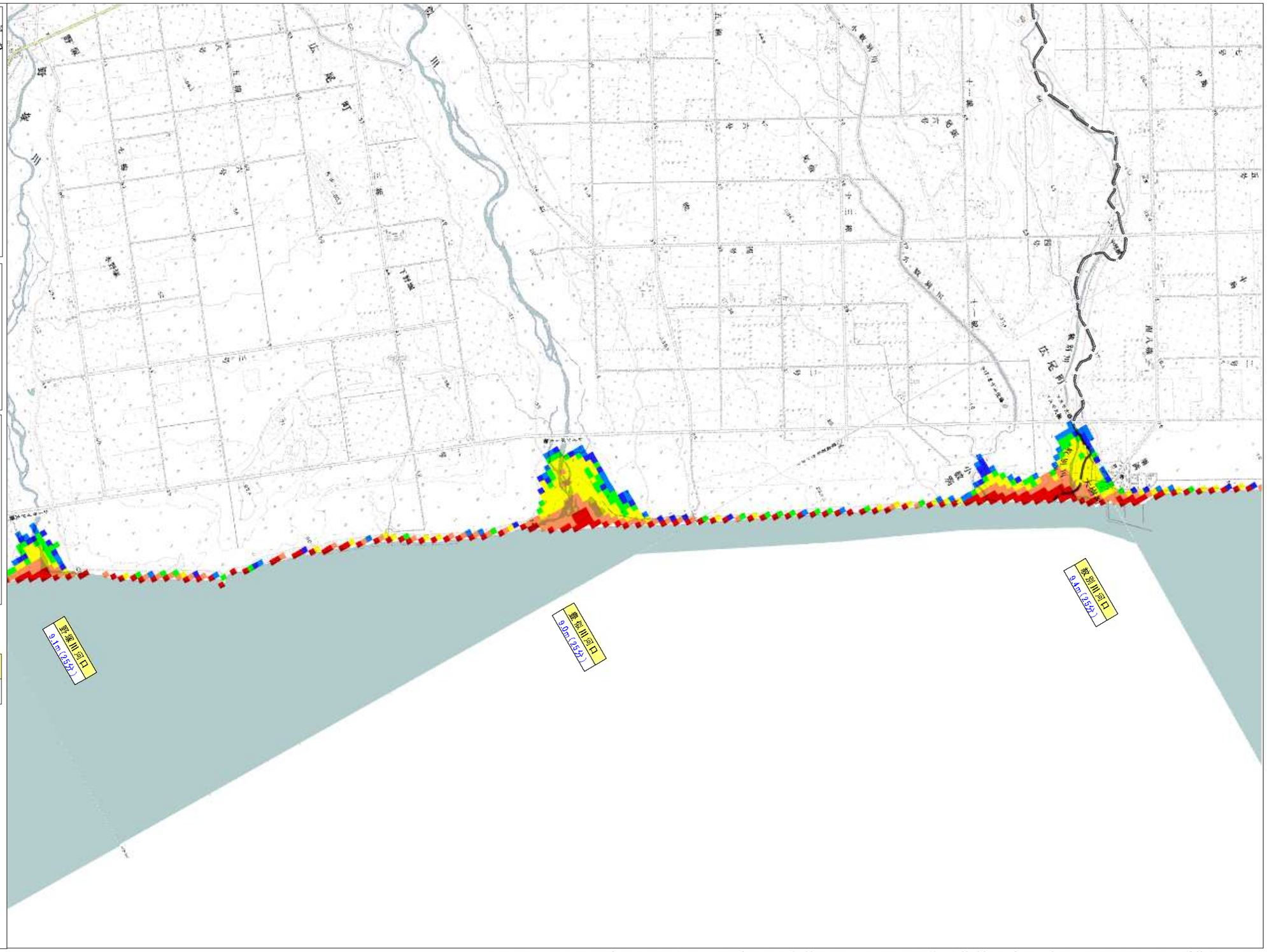
各地で予測される最大遡上高・影響開始時間

地区名
500年間隔地震の最大遡上高（影響開始時間）

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平17道複第379号）

津波浸水予測図　市町村別　広尾町　（3／3）





S　N

500　0　500　1000　1500m

縮尺　1　：　35,000

凡　例

津波浸水予測範囲
（500年間隔地震津波の最大浸水深）

- 0.5m未満
- 0.5m以上　1.0m未満
- 1.0m以上　2.0m未満
- 2.0m以上　4.0m未満
- 4.0m以上　6.0m未満
- 6.0m以上

各地で予測される最大遡上高・影響開始時間

地区名
500年間隔地震の最大遡上高（影響開始時間）

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平17道複第379号）

津波浸水予測図　市町村別（縮尺　1:35,000）　広尾町（全３図面）

※津波浸水予測図の説明

■下記の津波を想定津波とし、それぞれの津波ごとに、構造物が「効果あり」・「効果なし」の2パターンのシミュレーションを行ないました。（全4ケース）
■図面には、全4ケースのうち、最大の浸水範囲、浸水深（注１）を表示しています。
■図面には、代表する地点周辺における想定津波別の最大遡上高（注１）と影響開始時間（注２）を表示しています。
■地震の震源が想定より陸地に近かったり、想定を超える津波が来襲するなど、条件が異なる場合には、ここで示した時間より早く津波が来襲したり、遡上高が高くなったり、浸水範囲以外でも浸水する可能性があります。

［シミュレーション条件］

（１）想定津波
　十勝沖・釧路沖の地震津波　　三陸沖北部の地震津波
（２）構造物
　効果あり　：　防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防などの施設が、全て有効に機能したケース。
　効果なし　：　防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防など施設の機能が失われたと想定したケース。
（３）潮　　位　：　朔望平均満潮位　（各月の最高満潮面を平均した潮位）

※注１　最大遡上高と浸水深（図１参照）
　最大遡上高は、各地区で津波が到達する最高の標高とします。浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。
※注２　影響開始時間と津波到達時間（図２参照）
　影響開始時間は、地震発生から、海岸・海中の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化（初期水位から水位変化が±20cm）が生じるまでの時間です。
　津波到達時間は、地震発生から、津波第一波のピークが海岸に到達するまでの時間です。

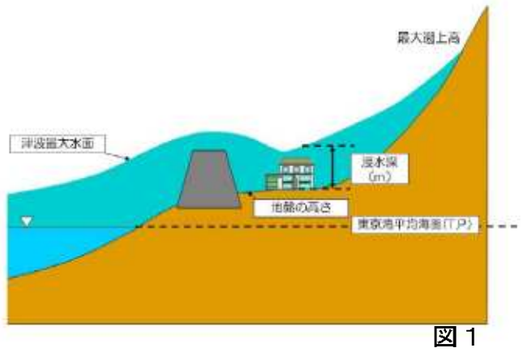


図１

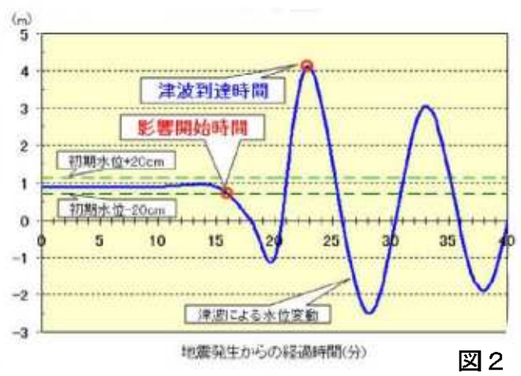
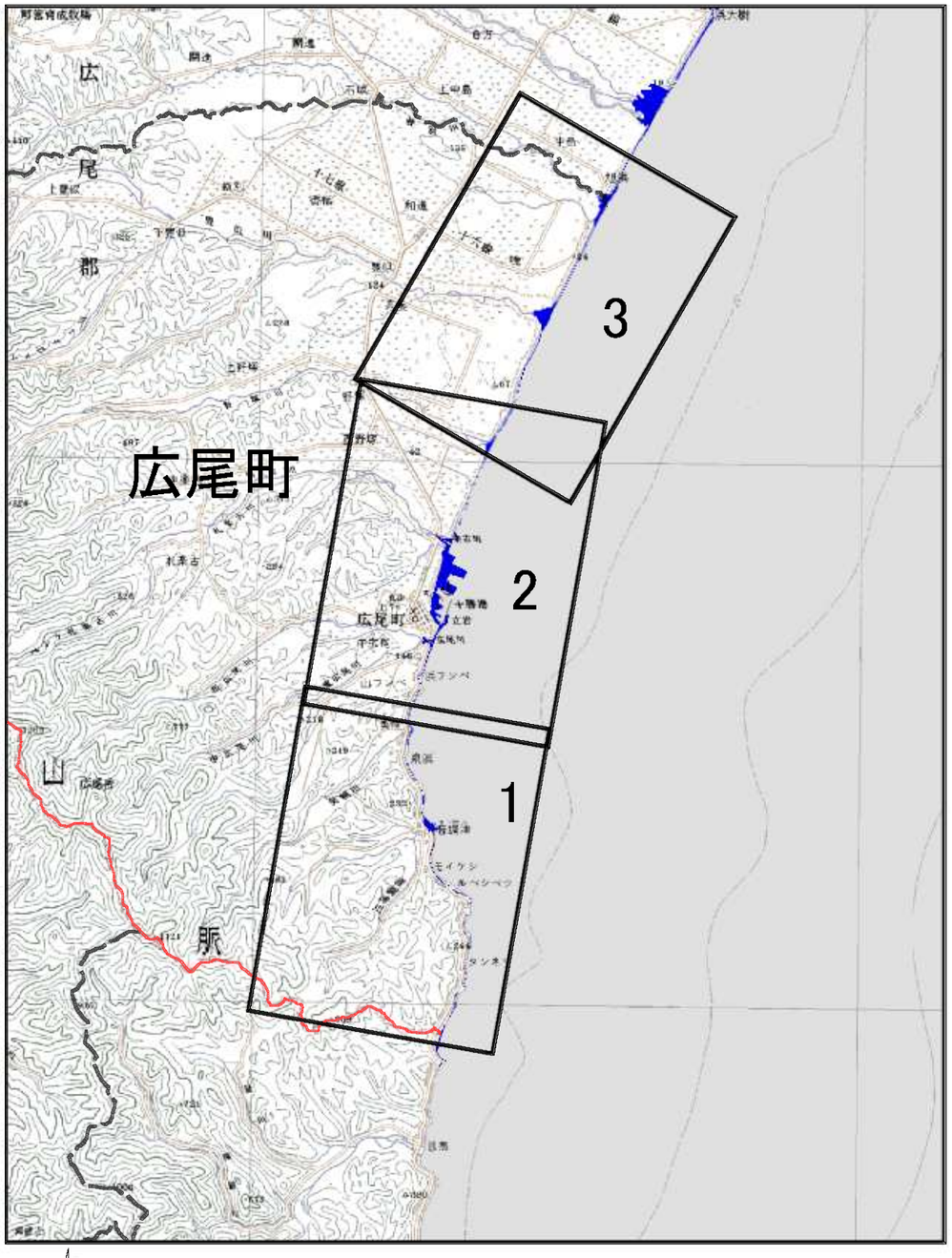


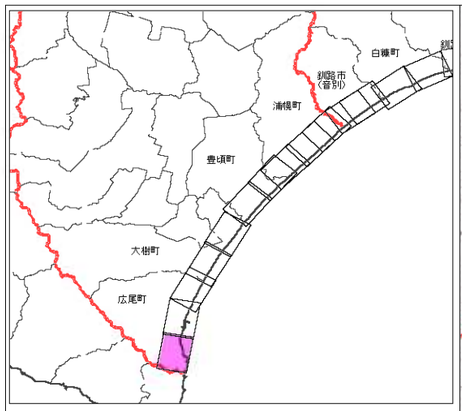
図２

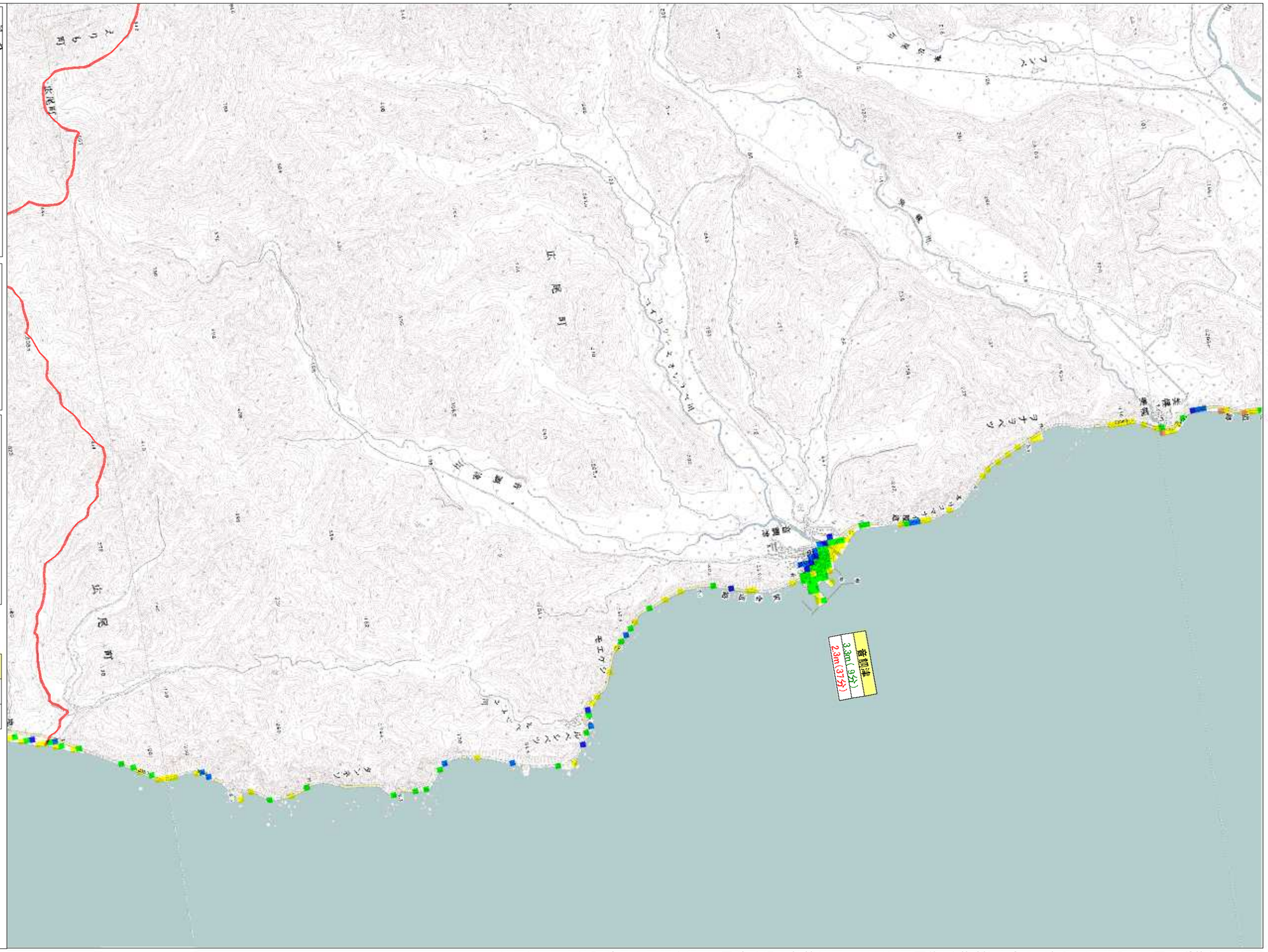
被　害　想　定　結　果					
想定項目	想定地震	十勝沖・釧路沖		三陸沖北部	
	構造物条件	なし	あり	なし	あり
建物被害　（単位：棟）	床上（全壊）	37	55	7	7
	床上（半壊）	69	56	4	10
	床上（軽微）	12	5	7	19
	床下浸水	10	13	38	57
人的被害（冬季）（単位：人）	死者数	30	26	2	2
	重傷者数	29	34	43	44
	中等傷者数	71	82	105	107
人的被害（夏季）（単位：人）	死者数	21	19	2	2
	重傷者数	33	40	55	55
	中等傷者数	80	97	134	134



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平17道複第379号）

津波浸水予測図　市町村別　広尾町　（1／3）





500　0　500　1000　1500m

縮尺　1　：　35,000

凡　例

津波浸水予測範囲
（2つの想定津波の最大浸水深）

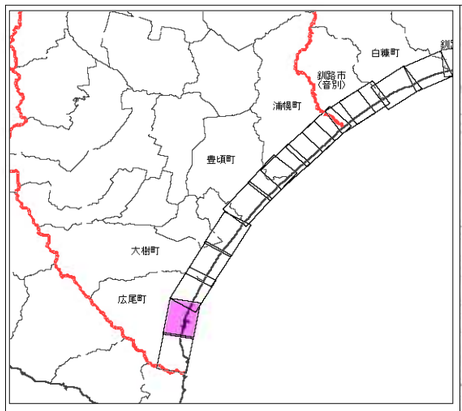
- 0.5m未満
- 0.5m以上　1.0m未満
- 1.0m以上　2.0m未満
- 2.0m以上　4.0m未満
- 4.0m以上　6.0m未満
- 6.0m以上

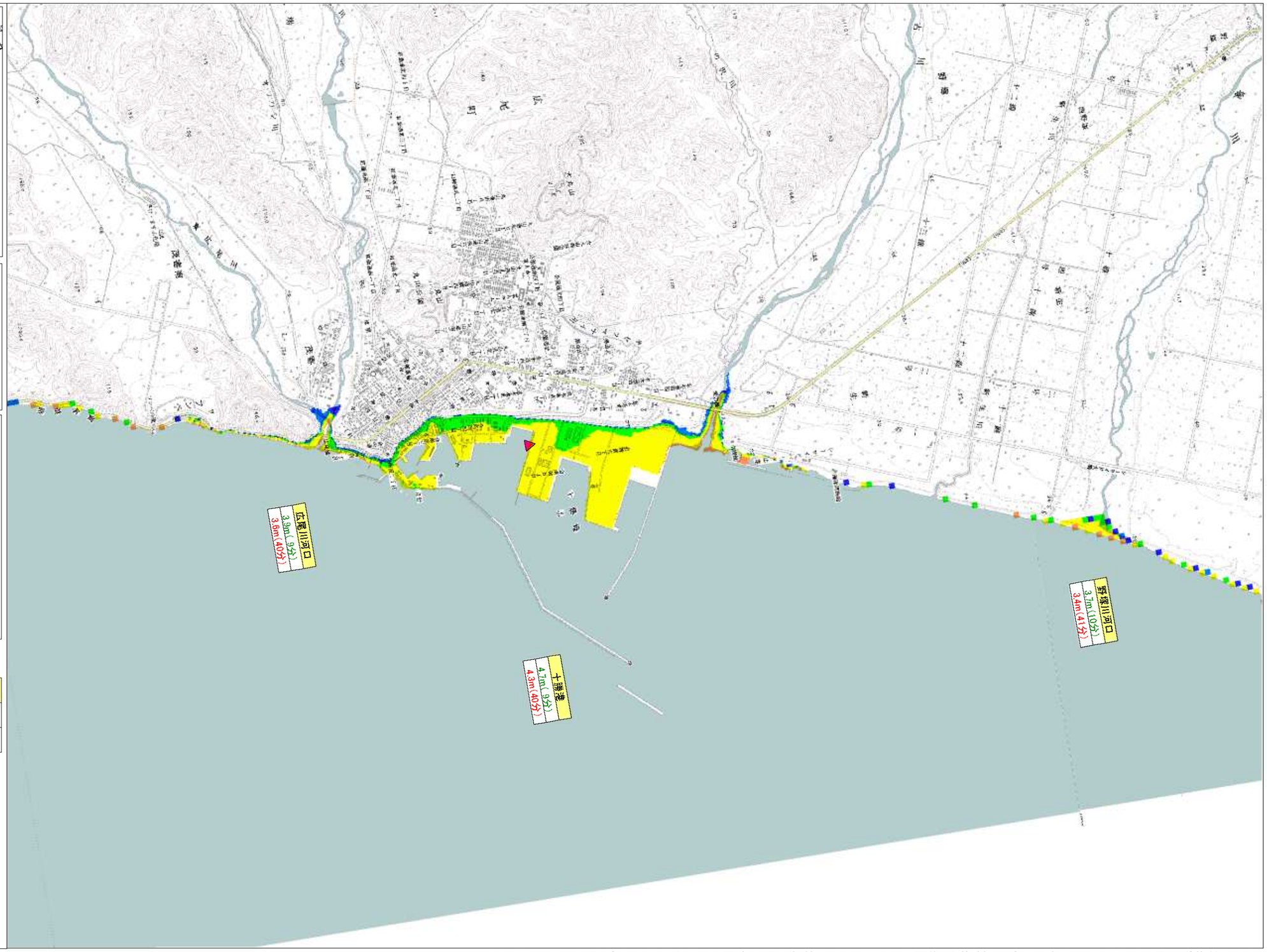
各地で予測される最大遡上高・影響開始時間

地区名
十勝沖・釧路沖の地震の最大遡上高（影響開始時間）
三陸沖北部の地震の最大遡上高（影響開始時間）

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平17道複第379号）

津波浸水予測図　市町村別　広尾町　（2／3）





N

500　0　500　1000　1500m

縮尺　1　：　35,000

凡　例

津波浸水予測範囲
（2つの想定津波の最大浸水深）

- 0.5m未満
- 0.5m以上　1.0m未満
- 1.0m以上　2.0m未満
- 2.0m以上　4.0m未満
- 4.0m以上　6.0m未満
- 6.0m以上

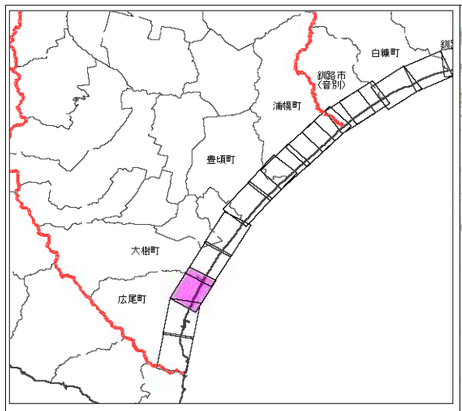
▲ 検潮所

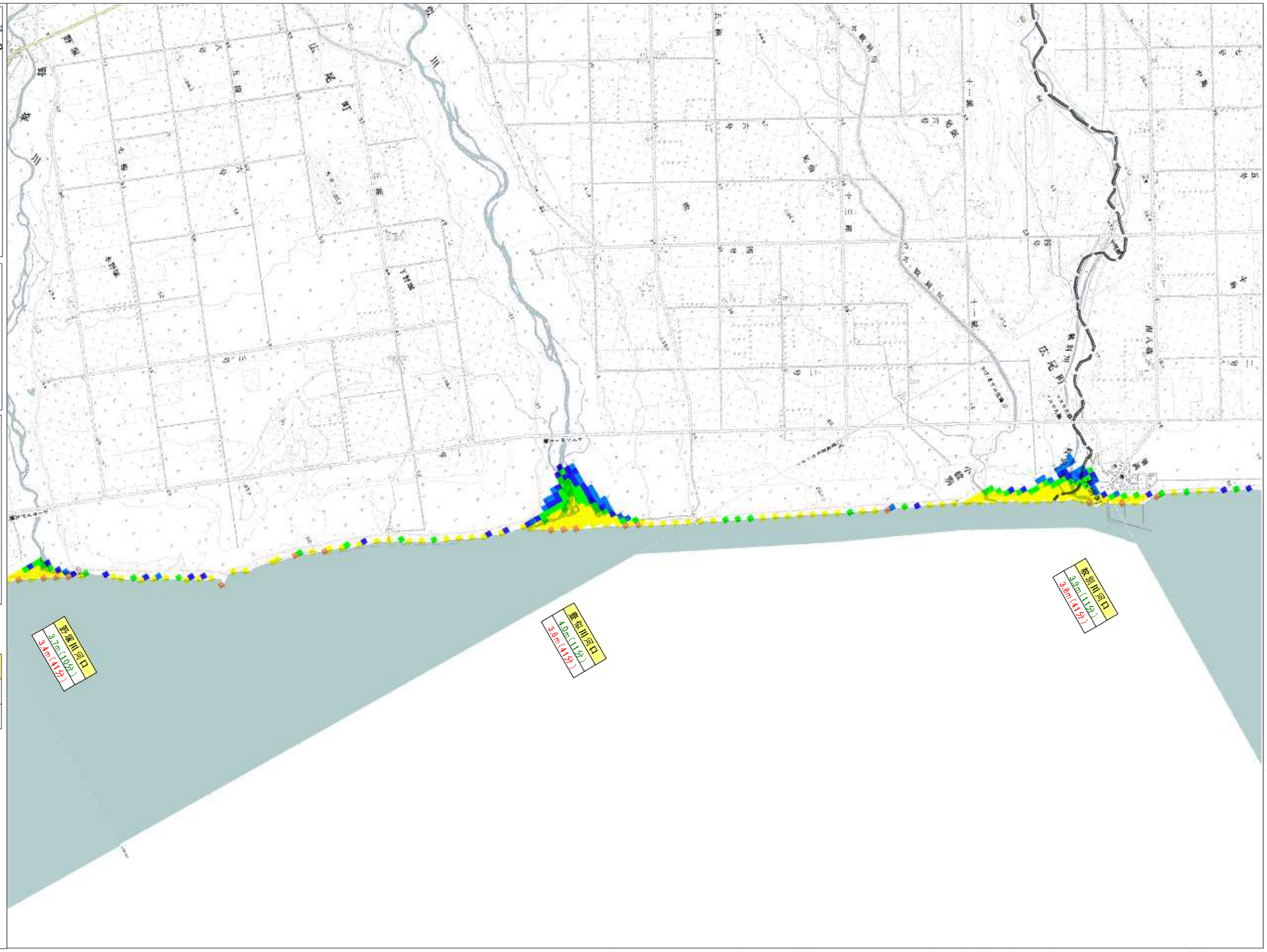
各地で予測される最大遡上高・影響開始時間

地区名
十勝沖・釧路沖の地震の最大遡上高（影響開始時間）
三陸沖北部の地震の最大遡上高（影響開始時間）

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平17道複第379号）

津波浸水予測図　市町村別　広尾町　（3／3）





S N

500　0　500　1000　1500m

縮尺　1　：　35,000

凡　例

津波浸水予測範囲
（2つの想定津波の最大浸水深）

- 0.5m未満
- 0.5m以上　1.0m未満
- 1.0m以上　2.0m未満
- 2.0m以上　4.0m未満
- 4.0m以上　6.0m未満
- 6.0m以上

各地で予測される最大遡上高・影響開始時間

地区名
十勝沖・釧路沖の地震の最大遡上高（影響開始時間）
三陸沖北部の地震の最大遡上高（影響開始時間）

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平17道複第379号）